

子どもたちのSOSを受け止めるために

危機に直面した子どもには心身の健康問題が現れます。悩みを言えない子どものSOSに気付くため、次のチェックリストを活用し、できるだけ多くの機会子どもたちを観察し、子どもたちの心身の変化を見逃さないようにしましょう。

場面別の観察チェックリスト

場面1 登校時、下校時

- ・登下校を渋る
- ・遅刻や早退が増加する
- ・挨拶に元気がない
- ・友達と一緒に登下校したがない

場面2 朝や帰りの会

- ・体調不良をよく訴える
- ・朝夕の健康観察に変化がある
- ・朝から眠いと訴える
- ・表情や目つきがいつもと違う

場面3 授業場面

- ・学習に取り組む意欲がない
- ・学習用具の忘れ物が多い
- ・教師の話が聞けない
- ・ぼんやりしている
- ・友達と関わる場面でも参加しない

場面4 休み時間

- ・友達と遊びたがない
- ・一人で過ごすことを好む
- ・外で遊ぶことを嫌がるようになる
- ・保健室に行きたがる
- ・他学年の子どもとばかり遊ぶ

場面5 給食（昼食）時

- ・食べる量が極端に減る
- ・食べる量が極端に増える
- ・食欲がないと訴える
- ・友達との会話が減る

場面6 学校行事

- ・参加を拒む
- ・参加への不安を訴える
- ・行事が近づくと体調不良になる
- ・行事への欠席が多い

場面7 部活動

- ・休みがちになる
- ・練習等への意欲が乏しい
- ・友達と関わろうとしない

場面8 その他

- ・保健室への来室が増える
- ・今までできていたことができなくなる
- ・用事もないのに職員室に来る

※学校における健康観察は、教職員同士の連携の下で実施する必要があります。複数の教職員がチェックしなかった項目についても協議するなど、全教職員の共通認識のもと、子どもたちのSOSを受け止められるよう、本チェックリストを活用してください。

子どもの自殺は、学校の長期休業明けの直後に増加する傾向があります。それらの時期に本チェックリストを活用するなど、できるだけ多くの機会をとらえて、子ども心身の状況を把握することが大切です。